

経 済 部 文 化 観 光 局 観 光 課

1 米子市観光協会事業活動に対する助成

米子市の観光振興及び皆生温泉エリアのブランディング向上を図るため、米子市観光協会の事業活動への助成を行うとともに、その実施について協力した。

(1) 皆生温泉魅力づくり事業及び誘客事業

ア 皆生温泉開発100周年記念継続事業「KAIKE101」の実施

- ・皆生温泉海水浴場のリニューアル
- ・海浜を活用したアクティビティ拡大事業
- ・皆生温泉マリンフェスティバル（中止）
- ・ロゴマーク活用事業
- ・皆生温泉エリアにおける「安心観光・飲食エリア」創出事業

イ 皆生温泉魅力アップ事業

- ・カイケジャンボリーRELATIONの開催
- ・「KAIKE BBQ PARK（カイケバーベキューパーク）」の実施

(2) 継続事業

- ・宣伝対策事業
- ・大人達の社会見学の実施
- ・皆生温泉ニューツーリズム創造事業
- ・まちなか観光推進事業
- ・広域連携・観光誘客事業
- ・米子ふるさと観光大使関連事業（関係人口の強化事業）
- ・スポーツ観光推進事業
- ・神話・歴史観光推進事業
- ・二次交通に関する事業
- ・米子桜まつりの開催
- ・農と食のフェスタinせいぶ（ネギ来まつり&米子駅まつり）の開催
- ・米子城・城下町観光拠点強化事業
- ・看板、印刷物関係事業
- ・指導育成事業
- ・収益事業の推進
- ・皆生遊歩道清掃事業
- ・観光協会組織の充実
- ・米子市国際観光案内所委託運営
- ・会議・研修会等（協会主催、共催会議のみ）

(3) 米子市国際観光案内所での観光案内業務

◇年間利用状況

宿 泊 案 内	観 光 案 内	交 通 案 内	地 理 案 内	そ の 他	合 計
1 3 5 件	1, 7 3 1 件	7 3 6 件	9 4 件	2, 0 8 0 件	4, 7 7 6 件

2 コンベンションの誘致

本市へのコンベンション誘致を促進するため、(財)とっとりコンベンションビューローに対し、運営費、大会開催支援補助金等の交付を行い、その活動を積極的に支援するとともにその活用を図った。

(大会開催支援補助金交付実績)

件 数	参 加 者 数	延宿泊者数	交 付 額 (米子市負担額)
6 件	3, 0 3 5 人	5, 2 6 7 人	9, 8 0 0, 0 0 0 円 (4, 9 0 0, 0 0 0 円)

3 観光関連団体との連携

日本観光振興協会、山陰観光連盟、鳥取県観光連盟、山陰インバウンド機構等の観光関連団体との連携を密にし、本市観光振興を図った。

4 郷土芸能の保存、育成

米子がいな太鼓、米子がいな万灯の保存、育成を図った。

5 大山の美化、遭難防止活動等への協力

大山国立公園協会、大山の美化を推進する会、大山遭難防止協会等を通じて、大山の美化、自然保護等と遭難防止活動に協力した。

6 皆生温泉にぎわい創出事業

(1) 観光宣伝事業の推進

旅館組合HPの機能強化、令和3年度お得クーポン券の発行、信用金庫グループ（99店舗）への観光宣伝を実施した。

(2) 街並み活性化事業の推進

足湯、観光センター周辺等の立ち寄りスポットの維持管理を行い、街並み美化に取り組んだ。

(3) 皆生温泉開発100周年記念事業（KAIKE101）

出張！なんでも鑑定団in皆生温泉の開催、美湯めぐり帳ライトの販売、出張足湯サービスの展開、小学生を対象にした体験プログラム「皆生温泉こども探検隊」等の企画・実施を行った。

7 皆生温泉エリア経営実行委員会における皆生温泉のまちづくりの推進

令和3年8月に設立された「皆生温泉エリア経営実行委員会」の事務局として、毎月の実行委員会の運営と以下の事業実施の伴走を行った。

(1) かいけエリアデザインVer. 1. 0の策定

外部アドバイザーと委員による協議を経て、皆生温泉のありたい未来の姿とこれからの道標をまとめた提案書「かいけエリアデザインVer. 1. 0」を作成し公開した。

(2) 皆生温泉エリア魅力向上補助金制度の創設・運用

意欲ある民間事業者が当該補助金を活用し、海沿い旅館のウッドデッキ整備、四条通の外観整備、まち歩き社会実験「ぐるぐるかいけ」（３月）、ビーチスポーツの実証実験（３月）等を実施した。

(3) 空き不動産基礎情報調査の実施

皆生温泉エリアの空き不動産情報をマップに落とし込み、空き不動産情報の見える化を行った。

(4) エリアデザインワークショップの開催

エリア模型を活用した皆生温泉で実現したいアイデアを自由に語るワークショップを開催し、皆生温泉に気軽に関われる機会として参加者の主体性を引き出しながらお互いの関係深化を図った。

ア 第１回エリアデザインワークショップ

令和３年１０月１５日（金）於 皆生グランドホテル天水

内容：まちあるきを行った後、こんな皆生温泉にしたいをテーマにアイデア出しを実施

市内民間事業者、地元自治会関係者等 ３８名が参加。

イ 第２回エリアデザインワークショップ

令和４年１月１４日（金）於 米子市観光センター

内容：海岸遊歩道、三条通、四条通松林、観光センターの活用についてグループに分かれ活用についての意見交換を実施。市内民間事業者、地元自治会関係者等 ２６名が参加。

ウ 第３回エリアデザインワークショップ オンライン開催

令和４年２月２５日（金）

内容：服部彰治氏（札幌大通りまちづくり株式会社）を講師に迎え札幌のエリアマネジメントを学ぶオンラインセミナーを実施。市内民間事業者、地元自治会関係者等 ３６名が参加。

(5) 皆生温泉の未来を考えるオンラインシンポジウムの開催

皆生温泉振興に関する取り組みとまちづくりビジョンを広く市内外に共有するためシンポジウムを令和４年３月２６日に開催した。

登壇者：吉谷崇（株式会社設計領域）、伊坂明（株式会社皆生グランドホテル）、

坂内和孝（皆生温泉観光株式会社）、山下裕子（まちなか広場研究所）、

吉田輝子（キミトデザインスタジオ）、伊木隆司（米子市長）

広 報：本シンポジウムは30分番組に編集され中海テレビ放送とYouTube上で公開された。

8 米子に泊まろう！宿泊応援キャンペーン事業

新型コロナウイルス感染症により売上減少等の影響を受けている市内宿泊施設に対する支援を目的とし、市内宿泊施設の利用促進を図る宿泊助成キャンペーンを実施した。

米子に泊まろう！宿泊応援キャンペーン第４弾 ９月２２日～１２月１８日 利用人数 ２３,４９７人

9 大山山麓・日野川流域観光推進協議会における 広域観光の推進

令和３年度より、３か年の新たな地方創生推進交付金計画《「観光から関係人口・企業移転」までを「標高０mから大山頂上」で切れ目なく受け入れ、来訪者の幸せ実現をめざす大山・日野川圏域》を策定したところであり、交付金計画の初年度として、特に以下の目標達成に向けて、足場固めに尽力した。

※構成自治体

米子市、境港市、南部町、伯耆町、日吉津村、大山町、江府町、日野町、日南町、倉吉市、琴浦町、鳥取県西部総合事務所

(1) 関係人口の創出・拡大および地域の収益向上に向けた検討

「関係人口の創出・拡大」「地域収益の向上」について、それぞれ検討する会議体を設置し、圏域内ですでに行われている先行事例についての勉強や、「サイクリスト聖地化事業」「Yonago ヒカリマチ事業」など、具体的な事業を取り上げて検討会を実施した。

(2) ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた短期イベント開催による集客からの脱却

「〔弟子旅〕達人と行く！源流自然体験事業」や、「新しい生活様式に対応した大山の四季魅力向上・PR事業」など、コロナ禍でも少人数で地域と深い関わりを持つことができ、リピーターとなりうる顧客の獲得を図る事業が実施できた。

また、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、予定通りの事業実施が困難な場面も多々あったが、各事業において事業計画の変更など柔軟な対応が図られた。

(3) 民間参画を念頭に置いた組織のあり方検討

現在の地方創生推進交付金計画が終了する令和5年度以降の組織のあり方について、圏域内観光関係団体などから人選された専門家の意見を求めながら、構成団体の首長や担当課などと議論の積み重ねを行ってきたところ。次年度以降も引き続き、検討を進めていくこととしている。

組織のあり方検討を進める中で、民間参画に向けた動き出しについて、一定の方向性を共有することが出来た。また、プロモーションやサイクリングなど、広域での取り組みに優位性がある事業への注力・強化などの意見が出てきており、次年度以降は、それらの意見を具体化していくことに取り組むこととした。

(4) 地方創生推進交付金対象外事業

「大山山麓の謎解き宝探し」や「つながるマルシェ」、「酒蔵ツーリズム事業」など継続事業として地域への定着を図り、民間事業者と連携した取り組みを推進した。

10 米子市、境港市、安来市、松江市、出雲市の5市との連携

平成31年2月に設立承認された「中海・宍道湖・大山圏域観光局」と連携し、圏域インバウンドプロモーション、国内広域観光プロモーション、人口集積地（発地型）誘客プロモーション事業、圏域観光再生支援プログラム、圏域周遊促進及び受入環境充実などの事業を実施し、情報発信を行い、認知度向上と観光誘客を図った。

11 中海・錦海かわまちづくり計画の推進

国・県・市の3者協調事業である「中海・錦海かわまちづくり計画」について、令和5年度末整備完了に向けた協議を進めた。

12 地域おこし協力隊

今年度は隊員1名による活動を行った。当隊員は、昨年度に引き続き、大山山麓・日野川流域観光推進協議会や西部商工会などと連携し、サイクリスト聖地化事業などのスポーツを切り口としたアクティビティによる観光振興を図った。西部商工会と連携して行ったサイクルガイド養成講座などを通じ、大山圏域においてサイクリングを事業化する、民間事業者などの発掘や育成などがすすめられた。

13 米子市ロゴマーク・イメージキャラクターの活用

(1) イベント等への貸出

ヨネギーズの着ぐるみを各種イベントに11回貸し出した。

(2) 印刷物・キャラクターグッズとしての活用

米子市が発行する各種印刷物や職員の名刺・名札に活用されているほか、市内事業者、市民などに合計 3 6 回活用された。

(3) その他の活用

ア 昨年に引き続き、職員の福利厚生とヨネギーズの知名度アップを目的に作成していた通称「ヨネギーズ ポロシャツ」を福祉の店おおぞらから販売されるように調整を行った。

イ ヨネギーズの知名度アップなどを目的に手提げビニール袋を作成した。

1 4 米子市観光センターの管理運営業務

(1) 山陰観光の拠点として、昭和 5 8 年 4 月から利用開始。平成 1 8 年度から指定管理者制度を導入し、引き続き皆生温泉旅館組合に管理運営業務を委託している。皆生温泉の観光案内、旅館のあつ旋、各種集会室の使用許可、バス発着場など観光客及び地域住民の幅広い利用を図った。

(2) 年間利用状況（テナント、広告看板、バス停利用を除く）

ア 観光案内 5, 8 4 5 件、1 3, 0 1 7 人

イ 施設利用

区 分	多目的 ホール	会議室	料 理 研修室	和 室	第 1 展示 ホ ー ル	第 2 展示 ホ ー ル	第 3 展示 ホ ー ル	合 計
件 数	238件	320件	3件	49件	365件	5件	365件	1, 345件
人 員	4, 580人	2, 772人	35人	352人	0人	20人	1, 485人	9, 244人

ウ 米子市観光センター指定管理委託先 皆生温泉旅館組合

指定管理委託料 3, 5 1 8, 0 0 0 円

1 5 米子コンベンションセンター管理運営業務

(1) 米子コンベンションセンター（米子国際会議場を含む）を鳥取県と米子市が共同で管理運営を行い、利用者への応接や利便性の向上に努めた。

(2) 米子国際会議場指定管理委託先 公益財団法人とっとりコンベンションビューロー

指定管理委託料 6 4, 4 2 6, 5 9 0 円

[米子国際会議場利用状況]

大 会 式 典	学 会	試 験	講演会 説明会	会 議 研修会	展示会 見本市	音 楽 芸 能	その他	計
5 件	7 件	1 2 件	8 件	4 3 件	3 件	5 件	1 1 件	9 4 件

利用日数 1 5 7 日 稼働率 4 7. 6 %

1 6 観光案内看板設置事業

皆生温泉街において日英表記の観光案内サイン 3 基を新設した。

事業費 6 4 4, 6 0 0 円